

「壁量（性能表示）」のNG 解消方法【壁量チェック】

文書管理番号：1189-03

Q. 質問

壁量チェックのチェック結果の「壁量（性能表示）」で NG がある。どのように修正したらよいか。

チェック結果

建築基準法による判定 ☐ OK

性能表示による判定 耐震等級 等級 (目標等級 等級)
耐風等級 等級 (目標等級 等級)

面材・筋違と柱チェック		壁量（建築基準法）				つりあいチェック		
柱の有効細長比		壁量（性能表示）				耐力壁線間隔・床倍率チェック		
階	方向	存在壁量	耐震 等級2		耐震 等級3		耐風 等級2	
			必要壁量	判定	必要壁量	判定	必要壁量	判定
2階	X方向	24.95	25.53	NG	30.63	NG	6.33	OK
	Y方向	44.20	25.53	OK	30.63	OK	18.30	OK
1階	X方向	85.47	63.36	OK	75.37	OK	21.63	OK
	Y方向	84.80	63.36	OK	75.37	OK	48.03	OK

再配置(R)

印刷(P) 閉じる(C) ヘルプ(H)

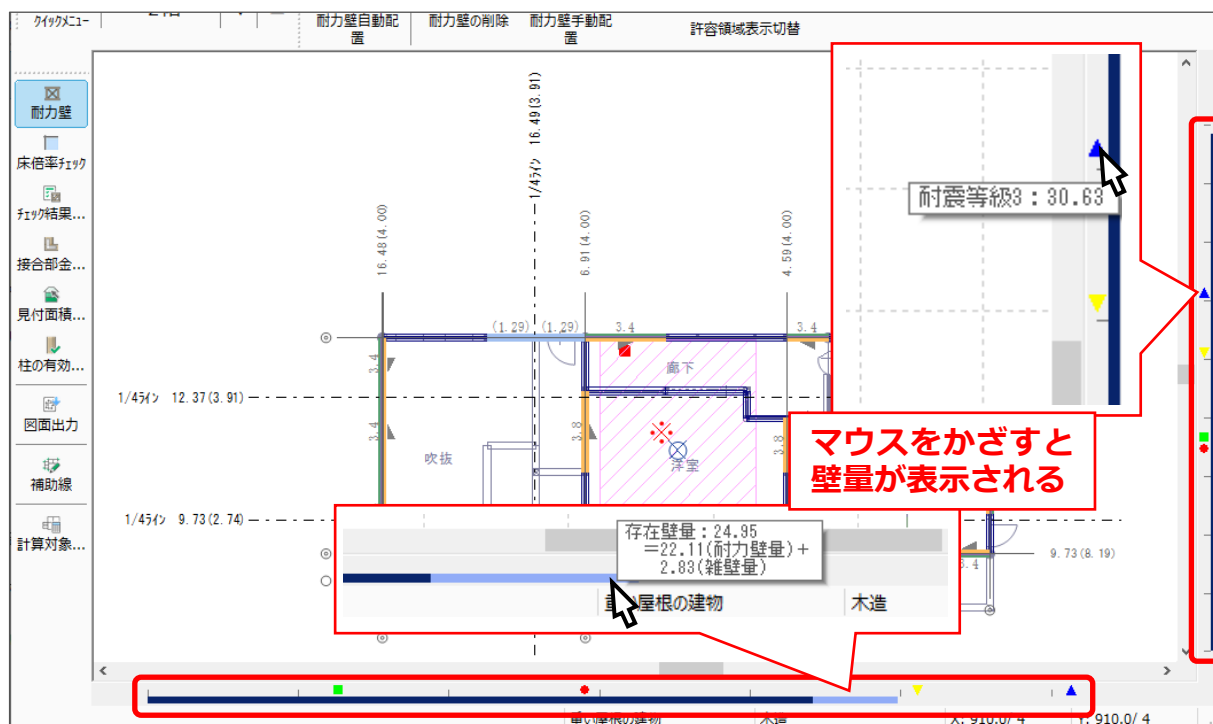
A. 回答

(壁量チェック) の (耐力壁) で配置した面材・筋違の壁量（存在壁量）が、設定した耐震等級・耐風等級を満たすために必要な壁量（必要壁量）に達していない場合に「NG」になります。

さらに、性能表示による判定で、クリアしていない等級が「***」で表示されます。

確認が必要な部分は赤字で表示されるため、該当する階・方向の耐力壁を (耐力壁) から修正します。

壁量チェック画面の画面下と右に表示されるバーメーターで、存在壁量と必要壁量を確認します。



● (赤色の丸) : 必要壁量

「壁量計算用床面積×係数」で求められる地震に関する必要壁量と、「見付面積×係数」で求められる風に関する必要壁量のうち、大きいほうを採用した建築基準法を満たすために最低限必要な壁量

▼ (黄色の▼) : 耐震等級 2

「壁量計算用床面積×係数」で求められる、性能表示用耐震等級 2 を満たすために最低限必要な壁量

▲ (青色の▲) : 耐震等級 3

「壁量計算用床面積×係数」で求められる、性能表示用耐震等級 3 を満たすために最低限必要な壁量

■ (緑色の■) : 耐風等級 2

「見付面積×係数」で求められる、性能表示用耐風等級 2 を満たすために最低限必要な壁量

■ (紺色のバー) : 存在壁量 (耐力壁量)

「耐力壁の実長×壁倍率」で求められる、現在配置されている壁量のうち耐力壁にあたる壁量

■ (水色のバー) : 存在壁量 (雑壁量)

「準耐力壁等 (「雑壁」と表記) の実長×採用壁倍率」で求められる、現在配置されている壁量のうち準耐力壁にあたる壁量

【参考】

「■ (耐力壁の存在壁量)」と「■ (雑壁の存在壁量)」の合算が性能表示の存在壁量となるため、耐力壁と雑壁を足した壁量が目標等級をクリアしていれば、判定は「OK」となります。

「壁量（性能表示）」の NG を解消するには、存在壁量を設定目標等級の必要壁量より大きくする必要があります。

ここでは、2 階 X 方向の存在壁量が耐震等級 2 および等級 3 の必要壁量に達していないため、耐力壁を変更または追加して X 方向の壁量を増やします。

存在壁量を増やす方法は、「壁量（建築基準法）」の NG 解消方法と同じです。

存在壁量を増やすとともに、つりあいチェックも考慮しながら行う必要があります。

詳しい操作方法是、こちらをご覧ください。

[\[1186\] 「壁量（建築基準法）」の NG 解消方法【壁量チェック】](#)

[\[1187\] 「つりあいチェック」の NG 解消方法【壁量チェック】](#)

チェック結果

建築基準法による判定 ☒ OK

性能表示による判定 耐震等級 等級 (目標等級 等級)
耐風等級 等級 (目標等級 等級)

面材・筋違と柱チェック		壁量（建築基準法）				つりあいチェック	
柱の有効細長比		壁量（性能表示）				耐力壁線間隔・床倍率チェック	
階	方向	存在壁量	耐震		耐風		
			等級2 必要壁量 判定	等級3 必要壁量 判定	等級2 必要壁量 判定		
2階	X方向	31.86	25.53 OK	30.63 OK	6.33 OK		
	Y方向	44.20	25.53 OK	30.63 OK	18.30 OK		
1階	X方向	85.47	63.36 OK	75.37 OK	21.63 OK		
	Y方向	84.80	63.36 OK	75.37 OK	48.03 OK		

存在壁量を増やし、耐震等級 3 の必要壁量を満たすことで、性能表示による判定で耐震等級・耐風等級ともに等級が表示されます。

【注意】

「壁量(性能表示)」の判定が OK でも、「耐力壁線間隔・床倍率チェック」が NG の場合は、性能表示による判定の等級表示は「***」のままです。 (床倍率チェック)で床倍率を満たすよう考慮する必要があります。